

2019.7.11(木)
第2回例会
(通算 3555回)

2019-2020年度 釧路ロータリークラブ会報

会長スローガン「CONNECT！ロータリーをよく知ってより大きい輪をつくらう！」

第83代会長	天方 智順	例会日	毎週木曜日 12:30～13:30 夜間例会 18:00
副会長	後藤 公貴	例会場	釧路センチュリーキャッスルホテル
幹事	松井 聖治	事務局	釧路市錦町 5-3 ミツ輪ビル 2F
編集責任者	クラブ会報雑誌委員会	☎	0154-24-0860
		☎	0154-24-0411

2019-2020年度
国際ロータリーテーマ



2019-2020年度 RI 会長
マーク・ダニエル・マロニー

第2500地区ガバナー
吉田 潤司 (釧路 RC)

月間テーマ

本日のプログラム 会長・幹事・四大委員長挨拶 (理事会担当)

次週例会 納涼ビアパーティー (親睦活動委員会担当)

■ロータリーソング：「四つのテスト」

■ソングリーダー：小林 隆志君

■会員数 95名 (2019年7月11日)

■ビジター：なし

■お客様：ひがし北海道クレインズ合同会社 代表社員 田中 茂樹様

■ニコニコ献金

天方 智順君・・・阿部委員長より若々しく新聞に載ってしまいました。恐縮です。

伊貝 正志君・・・長男が8日より弊社で働き始めました。これからお世話になることと思います。
その節はご指導の程よろしくお願い致します。

阿部 勝義君・・・7月3日に数学検定料 100万円を釧路市に寄付してきました。

今年度累計 55,000円

会長の時間

天方 智順会長

皆さま、改めましてこんにちは。先週の第1例会は多くの方に来ていただき本当にありがとうございます。7月1日より始まりました『ガバナー補佐表敬訪問』。第7分区の他の7つのクラブの例会にガバナー補佐とご一緒いたしました。



会長・幹事経験者の皆さんは分かっていますし、いらっしゃると思いますけれども、各クラブの例会場はそれぞれユニークで、いろいろなプログラムの内容も基本的に一緒ですけれども、時々違うときがあります。例えば、「君が代」

「ロータリーソング」は、北クラブは生ピアノです。他のクラブでも音源が違います。なんとなくオペラ歌手の独唱タイプの「君が代」や「奉仕の理想」があります。我がクラブとはちょっと違うなと思います。クラブ毎にゴングを持っていますけれども、ゴングも様々です。銀無垢というゴングが多いです。プロレスのゴングではないですけれども、一応、横から見た

ら台形の形をしたシルバーのゴングが多かったように思います。

たいていのクラブで、参加されている会員皆さんで全員と握手をする習わしのクラブが多いです。釧路クラブにそれがありませんので、なんとなく面食らった気がいたしました。

食事の違いも。釧路ロータリークラブはキャッスルホテルさんで、このように美味しい食事を私たちは食べていますけれど、私は釧路クラブの食事が一番だと思っています。但し、東クラブさんは7月の第1例会が毎年「うなぎ」なのです。提供は駒形家さんですが、うなぎが食べます。この後、会長・幹事を経験される方は、ぜひとも東クラブの例会に行っていたいただければと思います。

吉田潤司ガバナーの『公式訪問』が始まりましたようで、私たちも良いスタートを切れたと思います。今日は、もう一度スピーチの機会があるので、例会の最初の挨拶はこのくらいにさせていただきます。今日もどうぞよろしく願いいたします。

お客様挨拶

ひがし北海道クレインズ

代表業務執行社員 田中 茂樹 様

ご紹介に与りました。ひがし北海道クレインズで代表をさせていただいております田中と申します。よろ



しくお願いいたします。本日は、このような機会をいただきまして、誠に恐縮の至りではございません。この中にも、ひがし北海道クレインズがクレインズとして

存続をするに当たって、多大なご尽力をいただきました方々もたくさんいらっしゃいまして、私としましては、これまで本日までご挨拶も回れない状況に心苦しく思っているところでございます。いま、本当にゼロから会社組織・チーム含めて8月31日に決まりましたアジアリーグの初戦に向けて、チーム一丸となって日々夜中までがんばっておりますので、温かく今後も見守っていただければと存じます。

われわれとしましては、いま、新しくクラブチームとして生まれ変わることになるのですけれども、本日も釧路のスポーツ振興財団様と連携協定と形で署名をさせていただいたところでございます。この地域の氷都・釧路ということで、子どもたちがアイスホッケーをすることで夢を引き続き見られるようなチームとし

て、未永く地域に愛していただけるように日々努力をしておりますので、引き続き温かく見守っていただければ幸いです。

お手元に配布させていただきました資料は、先日、「第1回評議会」と名を打って、日本全国Jリーグをはじめとして、いまBリーグ等もございますけれども地域に密着をした形でのスポーツクラブが増えております。実は、こういった評議会というのはわれわれが初めての取り組みになりまして、地域の皆さまにご支援をいただいている中で、財政の透明化やチーム活動の状況をわれわれとしては常時情報公開しながら皆さまに見守っていただければということで、市の関係者や地域でいま関係をする方たちにお集まりいただいて、評議会で、喧々諤々、耳の痛いところも含めて承りながら、反省をするところは反省をし、お願いをするところはお願いをさせていただいてやっていく体勢をとっております。その第1回で配布をさせていただきました資料に少し加筆をしたものを皆さまに配布させていただきます。

こちらを見られて、なにかご意見・ご要望、反省するべきところなどいろいろございましたら、私もしくは本日来ておりますGMの佐藤、ずっとクレインズの日本製紙時代から応援の旗振り役として活躍をして、いまでも非常に大きなサポートをいただいております寺山までお知らせをいただければと思います。引き続き、よろしくお願いいたします。ありがとうございました。

本日のプログラム 会長・幹事・四大委員長挨拶

天方 智順 会長

再度失礼いたします。先週は、ガバナー補佐がご一緒で、お客さまも多くいらっしゃいましたので、所信表明演説みたいなものは今週になるのかと思っておりました。改めまして、今年度どうぞよろしくお願いしたいと思います。

いろいろな思いがある中で、スローガンの説明をさせていただきます。『CONNECT! ロータリーをよく知ってより大きな輪を作ろう!』です。



マロニーRI会長が、CONNECTなのです。繋がるのですよ。ロータリーは世界を繋ぐ。RI会長は毎年4つの大きなテーマを持ってやられているそうです。皆さん聞いたことがあると思います。「インスピレーション」とか、今年度のマロニー会長が「コネクト」、要するに「関係を持つ」という意味の「繋ぐ」

という意味の「コネクト」、コネクションの方です。ですから、そこから一文字いただいて。吉田潤司ガバナーの「知らずで語れず」、ロータリーをよく知ってということですので、それもいただきました。「より大きな輪を作ろう」は、皆さん分かってらっしゃると思いますが、各クラブとも会員増強は一生懸命やらなければいけないことだと思っています。その「より大きな輪」は、例会報告を見ると95名です。来週ちょっと多く入会されます。もう少しで100の大台に行くところでございます。昨年度の杉村副会長が一生懸命がんばってくださいまして、いろいろな方に声をかけていって、杉村副会長だけではなくいろいろな人が、がんばって動いていただき、もうすぐ100です。皆さん、8月は『会員増強月間』でございますので、それに向けてがんばって行きたいと、私も思いますし、皆さんもよろしくお願いしたいと思います。

よく、出港式などがありますよね。その年度の「〇〇丸」、去年は「脇組」でしたけれど、よく船に例えられます、ロータリーの年度は。私が思うに、ひとりひとりがお船じゃなく、釧路ロータリークラブが大き

な船になのではないかと考えています。毎年、艦長が、船長が代わるだけではないかと考えています。私で83代目だと思ってしまうので、過去において82人の船長さんがいらっしやって、それぞれの航海を終えられて私が83代船長として航海へ出るわけです。乗組員も54年以上乗り組まれている方もいらっしやいます。お仕事の都合で、2年ぐらいで下船される方もいらっしやいます。でも、ロータリークラブはひとつの船なのではないかと思えます。みんなで力を合わせてお一人お一人の船員が、役目を果たしたうえで安全な航海ができるのではないかと考えております。

普通の年は、船長なのですけれど、なんと例えれば良いかずっと考えていました。今年は同じ船に、もっと偉い人が乗っているみたいな感じがあるのですけれど、そういう名誉な年に船長ができて、私は幸せだと思っております。

最後に言うことを控えていたつもりで、大変失礼いたしました。会長をやるに当たって、いろいろと1年以上も前からこの7月からのことに対して準備してきたつもりです。いろいろと思うことがあって、会長のスタンスというものがあると思うのですが、悪く言うと「無理せずやりますよ。適当に」、こんなことは絶対失礼で、私はそれをやりたくもないです。かと言って、例えば5厘刈りにして、汗をダクダクかいて、目を血走らせて、そんなハードワークな会長も違うのではないかと思えます。なにが良いかと思っていましたら、なんとなく毎週・毎週うっすらと額に汗をかくぐらいが一番良いのではないかと思えます。自らに負担じゃなく負荷をかけて、ちょっとした汗をかくぐらいの会長でいたいと思っております。

自分で、かしくまるところはかしくまる。襟を正すところは正す。でも、そんなに堅くならず皆さんに緊張感を与えることなく会長をやりたいと思っております。

まだ2回目の例会で、これから先が長いのでございますので、皆さまのご協力・ご理解のほどをよろしくお願いいたしまして、この挨拶に代えさせていただきます。どうぞよろしくお願いいたします。

松井 聖治幹事

改めまして、今年度幹事という大役を仰せつかりました松井でございます。どうぞよろしくお願いいたします。

改めて言わなくても、まだ自分は入会6年目でして、経験もなく能力も足りない、そんな幹事でございます。例年の幹事さんようにはいかないかもしれませんが、やる気は負けないように持っておりますので、どうぞよろしくお願いいたします。

そんな自分ですけれども、意外とせっかちと言いますか、思い込みの激しいところがありまして、幹事の

お声をかけていただいたときに例会の後かなにかに、急に天方会長に「鱈へ行かないか」と言われまして、あまりいきなり鱈へ誘われることがなかったのですけれど。何も考えずに、八千代だったらちょっと怪しいと思ったのですけれど、鱈だったものですから何も考えずに付いて行ったら、お酒を飲んでいる最中



に、「2019-2020年度の会長を引き受けた」という話をされまして、本当に頭の片隅にも、まるっきり幹事なんてことはなかったものから「それはすごいですね、ガバナー年度じゃないですか」と。「すごく大変ですよ」なんていう話をしていたら、なにか分からないのですけれど「幹事、どうだ」と言われました。

その意味がよく分からなくて、「幹事、どうだ」という意味がよくわからなくて、いろいろ自分なりに考えましたけれども、幹事の相談をしているのかと思ひまして、僕なりに一生懸命その後しばらく真剣に誰が幹事に良いのかと思って、沈黙の中、必死に考えました。いろいろな人の顔を思い浮かべまして、誰が良いかといういろいろ考えて。

多分、真剣に考えているのだと会長は思われたと思いますけれども、僕は誰が良いかを真剣に考えていまして、しばらくの沈黙の後に天方会長に「誰が良いでしょうね」と言いました。そうしたら「そうじゃなく、お前だ」と言われまして、そこでやっと思態に気づきました。

そこからどんよりした空気の中、「すみません。嫁に相談をするので持ち帰らせてください」と言って、その場は終わったような感じです。後日、改めて「せっかくのお声がけですし、あまり運営職というものは苦手な方ですけれども、せっかくのチャンスですのでやらせてください」ということで、お引き受けをさせていただいたところでございます。

そんな感じで、私、本当に意外とそそっかしく、早とちりの部分もありますので、本当に1年間、皆さま方のご協力・叱咤激励をいただかないと本当に乗り越えて行けない、そんな1年になるのかと思っております。ですけれども、以外と打たれ弱い性格でございます。叱咤激励も、できましたら叱咤を少なめ激励を多めの叱咤激励にさせていただきまして。褒められて伸びるタイプでございますので、できましたら激励だけでも構いませんので、改めて激励多めの叱咤激励をお願いさせていただきまして、今年度1年、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

以上で、幹事としてのご挨拶とさせていただきます。改めまして、1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

クラブ運営委員会 土橋 賢一委員長

皆さん、こんにちは。クラブ運営委員会の土橋でございます。いよいよ今年度も始まりました。今年は、通常のロータリー活動の他に、吉田潤司ガバナー輩出年度ということで、大変充実した1年になるのではないかと考えております。



また、当委員会は、3つの小委員会からなっております。親睦・プログラム・出席と。委員長は、新進気鋭の委員長を

配しております。また副委員長のおかれましては、ベテランを配置しておるところであります。正・副委員長もさることながら、委員会メンバー全員が一丸となりまして、皆さんのロータリーライフが充実するようにプログラムの充実・工夫をして行きたいと思っておりますので、今年1年どうぞよろしくお願いいたします。

また副委員長のおかれましては、ベテランを配置しておるところであります。正・副委員長もさることながら、委員会メンバー全員が一丸となりまして、皆さんのロータリーライフが充実するようにプログラムの充実・工夫をして行きたいと思っておりますので、今年1年どうぞよろしくお願いいたします。

クラブ広報・会員組織委員会 杉山 宏司委員長

こんにちは。今年度クラブ広報・会員組織委員会委員長を命じられました杉山です。どうかよろしくお願いいたします。副委員長には、頼もしい大ベテランの田中正己会員にお願いしております。

実は私、歳よりもちょっと若く見えるものですから、よく「若作りをしている」とか言われますけれども、いま話題の年金をもらえる高齢者です。おじさんです。ですから、ときどき物忘れやミスもすると思っておりますので、そういう時には優しく小さな声でアドバイスをいただければホッとするとところでありますので、よろしくお願いいたします。



私どもの委員会は、3つの委員会を担当させていただいております。まず、クラブ会報・雑誌委員会は清水輝彦委員長、副委員長には、杉浦会員となっております。昨年に引き続きホームページを活用しての広報活動と新規コンテンツの発展と充実を目指しております。続きまして、会員増強・選考・職業分類委員会ですが、委員長には高橋徹次会員、副委員長に菅原淳会員となっております。クラブを運営していくうえでもウチのクラブは100名の会員を維持していくことが良いと思います。さらに維持をしていくだけではなく退会防止に努め、純増3%を目指していきます。先ほど、会長もおっしゃっていましたが、8月にはすぐ新

入会員対象の担当例会がございます。どなたかいらっしやいましたらぜひご推薦をお願いします。ひとりでも多くの会員を入会できるように活動していきます。

最後になりますが、昨年は「ロータリー情報委員会」でしたが、会員の皆さまにロータリーの理解をより深めるために名称を変更して「クラブ研修委員会」になりました。こちらは、木下会員・邵会員・協会員で、最強のメンバーとなっております。

今年度、天方会長の「CONNECT！ロータリーをよく知って より大きな輪を作ろう！」のスローガンの下、皆さまのご理解とご協力をいただき、歴史と伝統を受け継ぎながらがんばって行きたいと思っておりますので、どうか1年間よろしく願いいたします。

奉仕プロジェクト委員会 川本 和之委員長

皆さん、こんにちは。本年度、天方会長の下、奉仕プロジェクトを担当いたします川本でございます。よろしくお願いいたします。



私の副委員長は、米本会員でございます。私も何人かスポンサーをさせていただいたのですが、皆さんもう会長になってしまいました。米本君しか

残っていないということで米本君にお願いをしました。私の在籍もうかれこれ20年を超えております。米本君は10年ということで、経験値だけはあると、ムダに歳は食っておりますけれどもよろしくお願いいたします。

私どもの奉仕プロジェクトは、社会奉仕・職業奉仕・国際奉仕・青少年奉仕と4つの委員会になっておりますけれども、もう既に各委員会は動いております。

まず、社会奉仕委員会ですけれども、先日新聞にも載ってございましたけれども7月3日に市役所に『算数検定』の贈呈をさせていただきました。その時には、阿部委員長と一緒に同行させていただきました。

そして、職業奉仕です。来月22日に馬場北電支店長さんのご協力をいただきながら、緑ヶ岡の送配電カンパニーで『職場訪問例会』をする予定になっております。こちらの方もブラックアウトの経験を踏まえながら、その対策ということで進めております。

続きまして、国際奉仕ですけれども、近年、国際奉仕に対してもタイやブータン等に浄水器等を寄贈しながら奉仕活動をさせていただいておりますけれども、そのプロジェクトを継承すべく国際的にも奉仕活動をして行きたいと考えております。また、青少年委員会です。これはもう直近で事業が目白押し。7月27・28

日に『全道中学硬式野球大会』が工業高校で、土曜日に開会式を行い工業高校のグラウンドと武修館高校のグラウンドで2日間にわたって大会を開催する予定になっております。また『ライラセミナー』、働いている若者が、「リーダーシップ研修」ということで、今年8月31日・9月1日に旭川で開催という予定になっております。また11月には、『釧路ロータリーカップ』という恒例になっておりますけれども、全道のチームが集まるそのようなスケジュールで、もう着々と準備を進めているところでございます。会員皆さんの協力を元に進めて行かなければ成り立たない大きな大会等ございますので、ご協力をお願いしたいと思います。

私は、ロータリーは長いですが「力まず・緩まず・こだわらず」をずっと貫いて、あまりこだわりを持たないで、でもあまり緩みすぎてもいるのだから、それとこだわりを捨ててフラットな気持ちで対応して行こうとロータリー活動しておりますけれども、今年1年間、吉田ガバナー輩出クラブとして、誇りを持ち、責任を持って1年間行動をしていきたいと思っておりますので、会員、皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。ありがとうございました。

ロータリー財団・奨学推進委員会

佐藤 尚彦 委員長

皆さん、こんにちは。本年度のロータリー財団・奨学推進委員会の委員長を仰せつかりました佐藤でございます。よろしくお願いいたします。終わりではないです。

実は、私ロータリーアン歴もう11年目で、初めて仰せつかった大役でございます。個人的に私の気持ちとしては、すごい光栄でありながら、一方で私のような不良会員がやって天方丸が沈没しないのだろうかと思ったりと、その辺は皆さまにご安心してほしい部分があるのですが、それは、大委員長はこの程度かもしれませんが、ロータリー財団・寄付推進委員会は池田委員長、米山記念奨学会委員会は羽田野委員長、嵯峨記念育英会委員会は小野寺委員長と、もう完璧な布陣と私は思っておりますので、この辺は会長殿、ご心配されずに滞りなくそれぞれの役割を全うして行けると思っておりますのでがんばります。と言って、私がなにもしないということは一切ございませんので、その辺も重ねておまかせくださいと小さな声で申し上げます。



さて、今年度は、当クラブから吉田ガバナーが誕生されまして、実は当財団の方の委員会としましては、邵会長年度より3年計画でのミッションを仰せつかりしております。それは、皆さんも何度かお聞きされているかと思うのですが、「100%ポール・ハリス・フェロークラブを達成することを吉田ガバナー年度中に達成したい」ということを我が委員会のミッションとして掲げられております。これを達成するためには、釧路ロータリークラブ会員一人一人のご理解とご協力なくして達成不可能なものでございます。またこの100%ポール・ハリス・フェローは、クラブでは一生に1回しか達成できない名誉あるものと聞いております。この100%ポール・ハリス・フェロークラブの詳細につきましては、7月25日に池田委員長が担当する例会で詳細のご説明とご協力を求める形となっております。どうぞ皆さま、この1年間を含めて100%ポール・ハリス・フェロークラブになれるようご理解を賜ればと思います。

最後になりますが、この1年間、天方丸が沈没しないように微力ながらがんばってまいりますので、よろしくをお願いいたします。以上でございます。

後藤 公貴副会長

皆さん、こんにちは。本年度、副会長を仰せつかりしております後藤でございます。早速、先週から船出を始めたわけですが、まだ私なんかで良いのかという思いの中で迷いながら日々生活をさせていただいておりますが、引き受けたからには全力で今年1年間がんばって参ろうと思っております。



通常のクラブ運営とは別に、吉田ガバナーを輩出するという大変記念すべき、そしてまた光栄な年にこうした大役を与えられたわけでございます。ご覧のとおり、大変思いがある会長、そして優秀な幹事、そして両副幹事、そして頼もしい理事の皆さまに囲まれて、私の役割はなんだと思っております。来年の6月30日に皆さんから「後藤で良かったね」と最後に言っていただけるような、影から支えるような活動をしてまいりたいと思っております。ぜひ、クラブへのサポート、地区ガバナー事務所へのサポートをお願いさせていただきたいと思っております。

1年間、一生懸命がんばってまいります。よろしくお願いいたします。ありがとうございます。

Return
to
Top

Return
to
Web Site